



八千代台まちづくりプロジェクトによる「第4回住民部会ワークショップ（以下：WS）～相互まち訪問～」が、平成28年8月11日（木・祝）に開催されました。

第4回住民部会WSでは、日本大学理工学部まちづくり工学科の岡田研究室の学生たちとともに、担当地区外の地区でのまち歩き～相互まち訪問～を実施し、当該地区の魅力や問題点、気になる点について確認しました。

また、発表時には、他地区の方からみた地域の魅力等について意見出しが行われ、市民の森や住宅地の緑などの適正管理の必要性や新たな視点での地域の魅力等の活用方策や課題の解決方策などのヒントが発表されました。

次回はいよいよ担当地区の魅力や問題点が見える化するとともに、資料の作成方法や展開方法について検討していきます。住民部会WSは、自由に参加・発言できるWSを目指しています。八千代台地域の新たなまちづくりについて一緒に考えていきましょう！

## 住民部会 WS 当日プログラム

8月11日(木・祝) 15:00～18:00

【場所】八千代台東南公共センター5階ホール

### 1. 開会

◇ 開会のあいさつ

### 2. 相互まち訪問の説明

◇ 部長あいさつ

◇ 相互まち訪問の進め方、注意事項

### 3. 相互まち訪問

◇ 各地域に分かれて相互まち訪問

### 4. ワークショップ実施

◇ まち歩き結果の整理

◇ 学生目線のまち歩き結果の発表

### 5. 閉会

◇ 閉会のあいさつ

◇ 振り返りシートの記入

## 八千代台まちづくりプロジェクトの趣旨

### ◆プロジェクト実施の背景

わが国では人口減少社会に突入し、地域経済の維持や人口減少問題の克服といった、新たな社会・都市問題に直面したことを背景に、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されました。これを受け、八千代市では平成28年3月に「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「絆(つな)がる・創る“和”のまち八千代」を基本理念に掲げ、その実現方策として「八千代台地域活性化人づくりまちづくり事業」を展開することとなりました。そのため、当事業の推進体制として、当プロジェクト「八千代台まちづくりプロジェクト」が発足するに至りました。

### ◆まちづくりを行うための組織づくり

当まちづくりプロジェクトは、地域の資源・まちを育てる『住民部会』、商売繁盛・人づくり仕事づくりを目指す『商業部会』、まちの分析や事業検討を行う『まち分析部会』の3つの部会で構成しています。(右図参照)



図 まちづくりプロジェクトと各部会の位置づけ

## 住民部会ワークショップ～相互まち訪問による新たな地域の魅力・課題を発掘～

今回の住民部会WSでは、よそ者目線で地域の魅力や問題点、気になる点等を探求するために、『相互まち訪問』と称して担当地区外の地区に飛び出して現地確認を行いました。担当地区の代表者からの説明を受けて、他地区の住民の方々も、『相互まち訪問』を通じて担当地区外の地区の魅力や問題点等を知ることができてよかった、「担当地区の参考としたい」などの意見が得られました。



八千代市公式ゆるきゃら” やっち”  
“やっち”が八千代台まちづくりプロジェクトの活動を応援しに来ました！



『相互まち訪問』の実践  
担当地区外の地区に飛び出し、八千代台の新たな魅力や問題点等を探求しました。



よそもの目線で「地区の魅力」を発掘  
担当地区外のみなさんがまち歩きを通じて発掘した地区の魅力について発表しました。

## 第4回住民部会ワークショップを振り返って(全コメント掲載)

### WSの感想

- 静かだが道路が狭く、入り組んでいて歩きにくいと感じた。
- 知らないこと、謎だったことをいろいろ知れて勉強になった。
- このようなWSは市民参加型の活動として有効であり、楽しい。
- 非常に有意義であった。年代によって、考えること違っていった。
- 西団地周辺は祝日は時間帯のせいかあまり人と出会わなかった。
- 地域の小さな良いところをもっとたくさんの人に知ってもらいたい。
- 歩いて見ただけでは、解らない所に本当の課題があるような気がした。
- 歩くのが好きだが、問題意識を持って歩いたのは、初めてで面白かった。
- 西地区を初めて歩き、北東地区と違って多様性があり興味深く感じました。
- 南ヶ丘公園が住民により管理されていることを知り、住民の交流の面でもよいことだと思った。
- 住んでいる東地区から、北地区も歩くのですが主要道路しか知らず、細かい所がわかり面白かった。
- 細かな指摘ばかりで、これから大きなプロジェクトの集約に繋げられるのか、と少々疑問に思った。
- 大和田から駅への道しかほとんど知らなかったのも、住宅街や、知らなかった公園がわかり良かった。
- この取り組みが実際に町を変えるまでには長い時が掛かりそう。例え遠い話でもまず一歩からと考えたい。
- 市民だけがアツくなっても、ただの意見発表で終わってしまうので、市などにどんどんアピールしてほしい。
- 西地区は自分の40年住み慣れた所であるが、説明の中で自分の知らなかった情報を頂き認識を新たにしたい。
- とても良いプロジェクトでよかった。街が、明るく、人が住みやすい活気づくり・まちづくりが始まっていて嬉しい。
- 八千代台南地区の南ヶ丘公園は綺麗に整備されていた。地元自治会の方が毎週掃除されていると聞き、市まかせではなく地域住民の方の繋がりが良いと思った。
- 他地区の方から見た北東地区の感想が新鮮であった。北東地区は広いので、たくさん歩けないが、時間をかけて歩くとなんか意見がたくさん出ると思う。
- 南地区は本当に住みやすい地区だと感じた。時代を感じるとも素敵な住宅や、新しい住宅もゆったりしており、駅からの距離も近くて商店もあり、住みやすいと改めて感じた。歴史も感じられて良かった。
- 知っている町の様子でも、目的を持って歩くことで、新しいことを感じることができた。人と人との繋がりのある八千代は、住みやすいと感じている。今回のことで、改めて人の歴史も感じることができた。
- 参加者は高齢の方が殆どで若年層の意見が出ない状況にあり、若年層の参加が必要である。自分では思いつかない魅力・課題点が発見でき、新しい知見が得られた。
- まちづくりプロジェクトの大々的なPR。
- 行政の担当者は参加されないのか。
- 皆さん積極的に意見を発信していたので良かった。
- 買い物に不便なことに、住むには大変だなと感じた。
- 西地区を歩き、全体として古びたまち並みだと感じた。
- 新しい発見を見つけて今度は友達か家族で歩いてみたい。
- 自分の住んでいる街を深く考えてみるきっかけになった。
- 諏訪神社には初めて行き、涼しく落ち着いた雰囲気だった。

### 今後このWSに期待していること

- 子供たちが成長し、長く住み続けたいと思える街になるよう尽力していきたい。
- もっと八千代台を知りたいとのことであった。どんどん新しい参加者が来て欲しい。
- 講師や学生の方に頼り続けるのではなく、自分たちが継続して活動していくこと。
- 地区の長所/短所の具体的な活かし方、改善の仕方を財源的な面を含めて作成したい。
- 他の街の人達が八千代台に降りて歩いてみたいと思う街にしてほしい。例えば、船橋アンデルセン公園のように特色ある公園を作るとか、市に働きかけていただきたい。例えば、5月はバラ通りを作ってウォーキングに楽しい町にする等。
- 様々な世代の交流。外から人を呼び込むことができる何か(施設・イベント・今あるものを活かした事例)が欲しい。
- 住民の方々が魅力のある居住エリアであることを感じ周囲に自慢できる「八千代台民」が増えることを期待している。
- 今後は資源の有効利用とかまちづくりのための重要な課題が絞られてくると思い、もっと掘り下げたディスカッションができれば良いと思う。
- まちづくりのコンセプトを発見して欲しい。
- 都市計画道路をなるべく早く完成して欲しい。
- 東5丁目と京成線の間の道路はすごく狭い。災害時大変。
- 住民交流の機会、場などを具体的に提案できたらいいと思う。

### WSで発言できなかったこと、補足説明したいこと

- グループの皆さまから良い意見が聞かれ、むしろ気づきになった。
- 青空の中で弁当をもって行って食べられて市民の人がたくさん集まれる所を作って欲しい。
- 東小学校と東の公園の間の草原を整備して自然公園化したら良い八千代台地区唯一の観光場所になるのではないかな。
- ヤチロックに参加していますが公園に毎週ある同じゴミや出会う人からいろんなものが見える。掃除中にいろんな人が声を掛けてくれる。
- 人口増加への施策からスタート！八千代台地域の特色を大いに活用資源とし、魅力あるまちづくりを見直し、改善策に引き出してほしい。
- 住む人が住みやすい街とは、新しい人を何でもかんでも住ませて数を増やすだけで良いのか？今住んでいる人が仲間を呼んで来る街で大きくなっていく事が安定して発展する街ではないか？と考えている。
- コミュニティバスが170円は高い。マイクロバス数台をうまく動かし、運転手などは市で雇って。最初はお金が掛かるが、数年後はプラスになるはず。細い道まで通れば、坂の下の住民、坂の上の住民千葉市柏井の住民まで使う。
- 課題と言うかネガティブに思われる事は、本当はポジティブな事柄であることが多いと思われ、開発のために新たな投資を生むと考えられる。それが何かはまだつかめなかった感があり、今後のテーマである。
- 空家や使われていない建物を公共施設として利用できないか。

## 次回以降の主な流れ

6月27日(月) 第1回住民部会 ワークショップ(済) ○プロジェクトの趣旨説明、年間プログラム、班決めなど	7月12日(火) 18時～ 第2回住民部会ワークショップ(済) 【場所】八千代台南公共センター5階ホール ○机上フィールドサーベ(地域の魅力点・問題点等の発掘)	7月18日(月・祝) 15時～ 第3回住民部会ワークショップ(済) 【場所】八千代台文化センターホール ○まち歩き(地域の魅力点・問題点等の発掘)	8月11日(木・祝) 15時～ 相互まち訪問 【場所】八千代台南公共センター5階ホール ○一定期間を設けて住民独自にまち歩きを実施	9月1日(木) 18時～ まちづくりビジョンの検討 【場所】八千代台南公共センター5階ホール ○これまでのまち歩きの成果を整理してまちづくりコンセプトを作成
10月中旬 八千代台地区のまちづくりアクションプランの検討 ○時間軸を考慮したアクションプラン(短期・中期・長期)、2月イベント企画の検討	11月上旬 住民部会・商業部会合同ワークショップの実施 ○住民主体の2月イベント企画に関する計画の立案	11～12月 アクションプランの検討(1～2回程度) ○グループワークで市民や行政が実現可能なプランを検討	12月上旬 最終成果のとりまとめ ○アクションプランを整理し、地域的価値とまちづくりビジョンを市民全体で共有する	<b>商業部会や行政と連携した2月イベントとして まちづくりに展開予定!</b>

### ◇お問い合わせ先◇

八千代台まちづくりプロジェクト 事務局 熊谷・齊藤

電話(熊谷):070-3824-8930 E-Mail:yachiyodai.machi.project@gmail.com

〒276-0031 八千代市八千代台北1-12(八千代台自治会事務所内)

発行者:日本大学理工学部まちづくり工学科岡田研究室

発行日:平成28年9月1日

**Ⓐ**歴史的雰囲気が残る老舗  
 ・日本酒に富んだ美好屋や、古本屋の雄気堂などレトロな雰囲気の残る老舗がある。

**Ⓑ**集結した公共施設  
 ・小学校、図書館などの公共施設が駅前に集まっている。

**Ⓒ**老朽化した歩道橋  
 ・市立八千代台小学校脇の歩道橋が錆びて廃れており、老朽化が目立つ。

**①**桜が満開 中本通り  
 ・春には桜が満開となる、八千代台駅西口前の桜並木道は八千代ふるさと 50 景に選ばれている。

**②**生まれ変わった住宅団地  
 ・老朽化により建て替えられた。現代の住環境に合わせて、使いやすく生まれ変わっている。

**③**当時の空間が残る公団住宅  
 ・昭和 31 年初期の公団住宅。その後、改修が行われたが当時の空間は残っている。

**④**高低差の激しい階段  
 ・道路を挟んで階段の高低差が激しい。階段を無くし展望台として活用すべきである。

**Ⓓ**災害時不安な低地  
 ・市立八千代台西小学校、市立八千代台西中学校、八千代台西保育園周辺は低地になっており、災害時に不安があるように感じられる。

**⑤**人々が賑わう「やよい会館」  
 ・様々なイベントや活動が行われている「やよい会館」を起点とし、新たなイベント展開をすべきである。

**⑥**住宅街の細く危険な道  
 ・道が細いため、日中でも車とすれ違う時に危険を感じる場所である。

**⑦**小中学校の脇を流れる高津川  
 ・昔の綺麗な高津川の姿を取り戻し、子供たちの遊び場を設けたい。

**⑧**活気がなく暗く感じる街路  
 ・電灯が等間隔で設置されているものの、周囲の活気・明かりが少ないため、暗くて危ない空間である。

**Ⓔ**閉店した豆腐屋さん  
 ・閉店した豆腐屋がある。こういった店舗の再開が何かに繋がると期待する。

**⑨**最近設置された防犯カメラ  
 ・住民の要望により団地の駐車場に防犯カメラが設置され、防犯面が向上している。

**⑩**災害時にも役立つ井戸水  
 ・地下水がとても美味しい。災害時にも利用できる。

**⑪**緑豊かな西団地  
 ・団地周辺は緑が多く、綺麗に整備されている。また、公園で遊ぶ小学生もおり、とても賑やかである。

**Ⓕ**放置された空き家  
 ・空き家が放置され、雑草が茂っている。

**⑫**愛され続けたアタゴ商店  
 ・昔は地域の商店として栄えていたが現在は営業しておらず、他にも似た店舗が多く見られ、住民の思い出の場が減っている。

**⑬**歩道幅が狭い幹線通路  
 ・歩行者が通行する際、非常に危険である。ガードレール設置などの対策が必要である。

**⑭**見通しの悪い危険な高架下  
 ・道路の見通しが悪く、歩車共に危険なため通行時に音の鳴る警報機を設置すべきである。

**⑮**市民の森に唯一残っている遊具  
 ・現在、遊具は一つしかないが、昔はたくさんあり子供たちの遊び場であった。かつての賑わいを取り戻すため、遊具を増やすべきである。

**⑯**緑と歴史ある諏訪神社  
 ・緑に包まれている社が非常に魅力的である。

**⑰**伝統行事のカラスピシャ  
 ・烏飛車という伝統行事がある。その的を子供と一緒にやる機会（イベント等）を作るべきである。

**⑱**森周辺の団地  
 ・森周辺の宅地開発が進み、森の面積が徐々に減少している。住民に親しみのある森を守っていききたい。

**⑲**第二公園入り口  
 ・入り口のスロープが一部分にしか設けられていないが段差を全て埋めることで、入りやすくすべきである。

**⑳**心地よい空間 第二公園  
 ・緑が多く、ゆったりとした雰囲気を感じる。小さな子供たちが遊具や砂場で遊んでおり賑わいがある。

**Ⓔ**多様な用途がある借家  
 ・民家を建て替えて作られたレンタルハウスは多様な用途の可能性が考えられる。

**㉑**暗く通りにくい地下通路  
 ・ごみや柵が錆びている等と汚く、自転車が通ると危険である。

**㉒**宣伝に使えるような掲示板  
 ・東西の連絡通路として多くの人に利用されている。過去にあった、小学生の絵の展示等をするべきである。

**㉓**道幅が狭く危険な道路  
 ・歩道が狭く、路線バスが通ったときとても危ない。歩道に色を付け、歩行者スペースを広げてみてはどうか。

**㉔**子どもの遊び場 第一公園  
 ・小学校の子供がボール遊びをしてにぎわいがある。飛び出し防止フェンスが設置されているが、錆びているので、綺麗に整備したらどうか。

**㉕**公園完成時からある築山  
 ・昭和 31 年初期の公園完成時からある築山が残っていて、今でもシンボルとして子供たちに愛され続けている。

**㉖**団地初期の平屋建て住宅  
 ・団地初期の平屋建て住宅がルート上に 4 つ残っている。昭和 30 年当時の空間が残っていて魅力的である。


## 西地区 まち歩きルート

【凡例】


- — — : 第3回 WS まち歩きルート
- — — : 第4回 WS まち歩きルート
- Ⓐ~Ⓒ : 新しく意見が出た場所




**①みんなが利用するユアエルム**  
 ・誰もが利用し、駅前アクセスもしやすい場所である。




**②八千代台一の商店街**  
 ・エポラ通りは、八千代台の中では大きい商店街で賑わっている。




**③歩道を狭くする花壇**  
 ・高齢者が多い町なため、デコボコの花壇を無くし、車イスが通りやすいように歩道を広くしてほしい。




**④白のベンチ**  
 ・ベンチが背後の建物と白色の同色で、ベンチの存在が分かりづらい。配置場所の工夫をすることで改善される。




**⑤希望通りベンチ**  
 ・希望通りに町内会で制作したベンチがあり、趣がある。  
 ・ベンチが点在しているので、休憩スポットになる。




**⑥寂しくなる空き店舗**  
 ・商店街から離れるほど、空き店舗が多くなり寂しい雰囲気になっている。




**⑦歩きにくい歩道**  
 ・希望通りの歩道がデコボコで傾いており高齢者にはとても歩きにくい。




**⑧希望通り**  
 ・希望通りには、知られていない個人経営の店が多い。もっと希望通り全体をアピールして、価値を高めたい。  
 ・若者が気軽にランチできる場所がない。




**⑨地元のゲームセンター**  
 ・不定期に営業している地元のゲームセンターがある。




**⑩地元の八百屋さん**  
 ・火、土曜日に営業している地元の八百屋がある。




**⑪特選珈琲**  
 ・希望通りの沿いに、朝は食べ物を持ち込み可能な、とても良心的でオシャレな珈琲屋がある。




**⑫電線の高さ**  
 ・電線が地上から低い位置にある。緊急時に車が通りにくい。




**⑬希望通りのベンチ**  
 ・小学生が塗装をしたベンチがあり趣がある。  
 ・少し劣化が目立っており、改めてこのベンチ制作を再開して、ベンチを増やすことで、ベンチロードといった八千代台の魅力にすべきである。




**⑭八千代台東子供森**  
 ・森の中にアスレチックが広がっており、子供の遊び場として利用価値が高い。




**⑮道路整備**  
 ・道が狭く、自転車も歩行者も通づらい。譲り合いの看板を設置することで改善される。  
 ・ミラーが少ないため、自動車同士のお見合いが多発している。




**⑯隠れコミュニティスポット**  
 ・誰もが使える休憩室があり、コミュニティの場となる。  
 ・この場合は地区の住民間でも周知されていないためアピールが必要である。




**⑰賑わいのある東町会館**  
 ・東町会館はとても多くの利用者数でコミュニティの中心となっている。(年間売り上げ約120万円)




**⑱静かで緑豊かな住宅街**  
 ・住宅の植栽と近隣公園周辺の木々で、緑豊かな落ち着いた空間である。




**⑲緑に囲まれた近隣公園**  
 ・野球などができるくらい大きい1周700m程の近隣公園があり、自然も豊かである。  
 ・恐竜公園とも呼ばれ、愛犬家が犬の散歩中に集まる場にもなっており、賑わいがある。




**⑳近隣公園**  
 ・休日にも関わらず利用者が少ないことから、パークヨガなどイベントが出来るようにSNSを利用して公園を貸し出せるようにしたい。




**㉑東第二小学校の有効活用策**  
 ・廃校になった八千代台東第二小学校の敷地を有効活用すべきである。  
 ・校舎は耐震の問題で使用できないが、校庭を活用してメガソーラー事業者を誘致し、その太陽光パネルを屋根として貸し出してもらい、雨天時でも活動可能な場所にするというのではないかと。




**㉒放置されてしまった校庭**  
 ・八千代市立八千代台東第二小学校の校庭は雑草等で荒れており、維持管理する人がいない。




**㉓東小の校庭**  
 ・風通しがよく、広大な敷地だが、活用されていない。貸し農園や高齢者が多いことから長野県佐久市のびんころ地蔵のような活用をしたい。




**㉔川の再生で水辺空間づくり**  
 ・以前、まこと幼稚園の空敷地に流っていた川を復活させることにより人の集まる魅力スポットを作る。




**㉕交通安全の看板**  
 ・交通安全の看板が昔より減っている。  
 ・100当番のような子供が駆け込める場所が少ない。そこで駆け込める場所を増やし、防犯面を強化したい。



**㉖乱開発による危険な歩道**  
 ・乱開発により、車の通りが激しい通りの歩道が狭く危険箇所が多い。



**㉗もの寂しい地下通路**  
 ・地下道は寂しい雰囲気である。  
 ・ポスターなどを貼り、賑やかにしつつ、情報発信等にも活用する。






**① 荒れ果てた空き家通り**

- 空き店舗が荒れ果てて放置されている。
- シャッターが閉まったままの店舗が目立つ。
- 空き店舗コミュニティ施設やアンテナショップなどとして利用したい。



**② 地産地消の八百屋**

- 千葉県産に拘った八百屋により地産地消が可能である。



**③ 地産地消の八百屋**

- 2年ほど前に開店した八百屋は、値段が安いなどの理由もあり住民に親しまれている。



**④ 特別感のあるケーキ屋**

- 店長の気分でいつ開くかわからない故に開店時に訪れることができればラッキー!! 珍しい不思議なケーキ屋さん。



**⑤ 医療施設通り**

- 医療施設が一カ所に集まっているためココをさらに強化し、より充実した医療施設通りになれば利便性が向上すると感じた。



**⑥ 歴史を感じる職人技**

- 畳を製造する歴史あるお店があるため、歴史的風景を感じながら生業を楽しむことができる。



**⑦ 八千代台第一公園**

- 春には桜が綺麗なだけでなく、頭上の木々の枝が屋根代わりとなり日陰ができた下にはベンチやブランコがあり、座ってゆっくり過ごせる。



**⑧ 八千代台第一公園**

- 遊具やフェンスなどが多いため、遊んでいる子供の様子を見守ることができない。



**⑨ 再利用の価値がある元社宅**

- 放置された巨大な県警の元社宅が存在する。公園の隣という立地の良さを生かし、シェアハウス等に活用できないかと考える。



**⑩ 再利用の価値がある元社宅**

- 放置された巨大な県警の元社宅がある。駅や公園の近くという立地の良さを活かし、シェアハウスや老人健康施設や保育園の複合施設に活用したい。



**⑪ 騒音が気になる演習場**

- 自衛隊演習場の近くに住民の散歩などに利用される路地があるため、騒音が気になる。



**⑫ 誰も気づかない防空壕(?)**

- 警告看板よりも目立つ防空壕を紹介する看板を設置し、まちの魅力として推し出してアピールしたい。



**⑬ 誰も気づかない防空壕(?)**

- 防空壕ではないという説が浮上。芋穴であるのなら、その芋の種類や管理方法など別の観点から掘り下げて魅力を発掘していきたい。



**⑭ 小規模農地の有効活用**

- 住宅地に点在する農地を利用して、無人販売所を設置し、住宅地の暮らしをより豊かなものにしたい。



**⑮ 八千代台北子供の森**

- 木製のアスレチックで遊ぶ子どもたちを多く眺められ、活気のある壮大な自然公園となっている。



**⑯ 利便性に欠ける生活空間**

- 住宅地が密集しているが、周辺に商業施設がないため、多少の不便を感じる空間となっている。



**⑰ 八千代台北市民の森**

- 遊具がなく子供があまり遊びに来ないため、お年寄りとお子との世代交流が少ない。そのため、年配の方と子供との交流イベントを開催し、世代交流を図りたい。
- お年寄りの散歩道や犬の散歩道として利用されており健康増進になる。



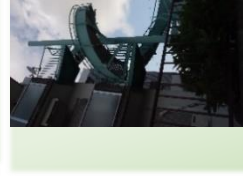
**⑱ 八千代台北市民の森**

- ボランティアで植えられている花が見えなくなってしまいうほど、雑草が生い茂っている。



**⑲ 特徴的な避難経路**

- お年寄りが素早く避難できるよう、避難経路として滑り台が設置されているが、使われていないときの景観的利用として、季節ごとの飾りつけをしてみると面白いと感じた。



**⑳ 緑の多い住宅地**

- 団地初期の住宅街は木々が立派に育っており、全体として緑に恵まれている。



**㉑ 分別の徹底**

- 住宅地に存在する資源回収 BOX の設置をより展開していくべき。



**㉒ 高低差によるまちの一望**

- 高台から東地区を見渡せる魅力的な空間だが、見る見られるの関係から、東地区からも見られていることを意識しなければならない。

**近すぎる京成電鉄**

- 真下に線路が敷かれているため、近隣住民が騒音被害に苛まれている。



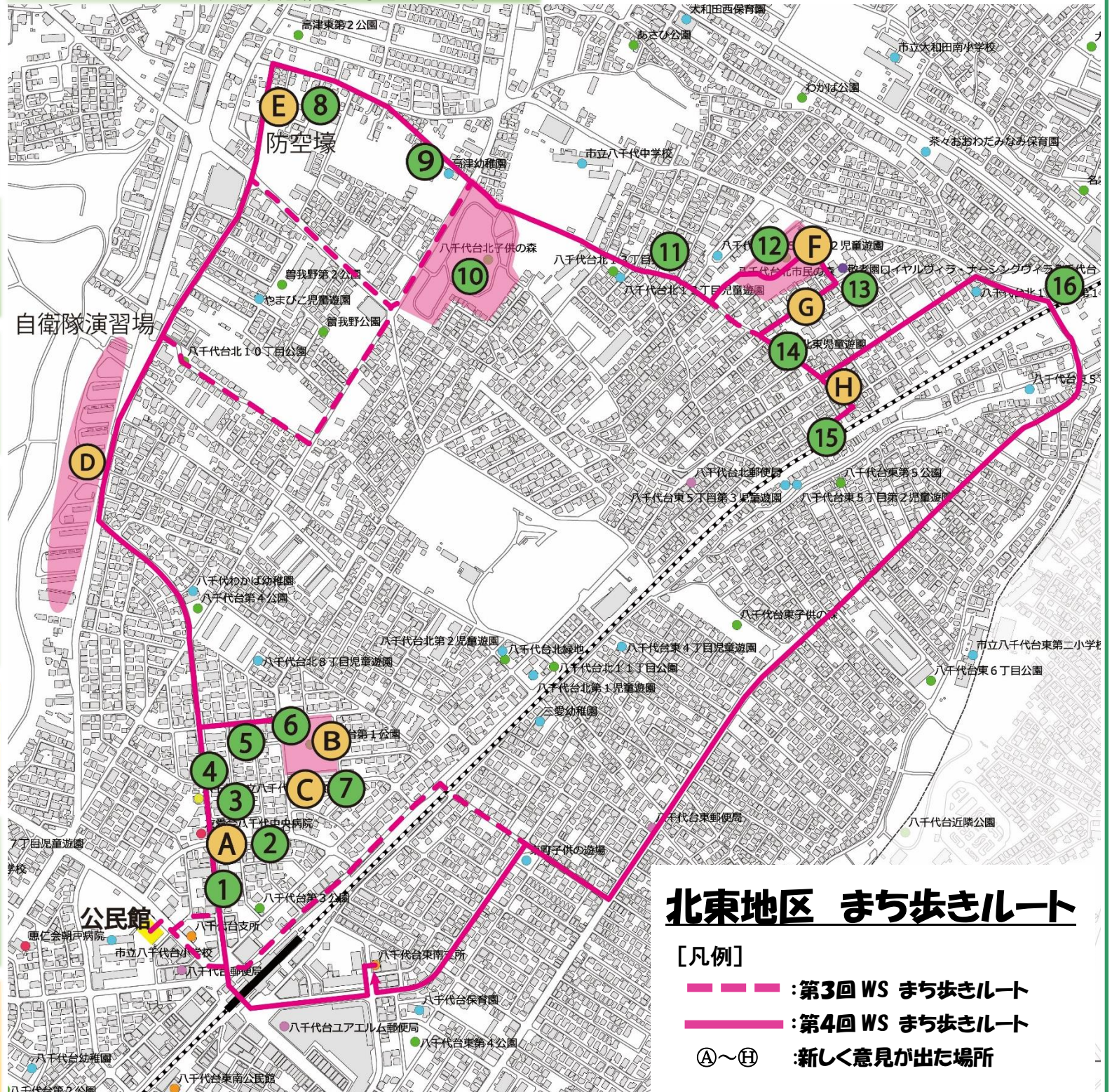
**㉓ 閑静な住宅街**

- 細い路地は車の通りが少なく歩行者は歩きやすい。一方で自動車はとても通りづらい。



**㉔ 整ったスカイライン**

- 坂の上からまちの美しいスカイラインを望める。



北東地区 まち歩きルート

- [凡例]
- : 第3回 WS まち歩きルート
  - : 第4回 WS まち歩きルート
  - Ⓐ~Ⓘ : 新しく意見が出た場所

**①地下道の掲示板**  
 ・八千代台まちづくりプロジェクトのポスターが張られたことで暗いイメージがあった地下道が綺麗で明るく感じられた。

**夜の暗い地下道**  
 ・夜は暗く、酔っ払いが寝ていることがある。

**老朽化した地下道**  
 ・地下道の出入り口付近の手すり等のベンキがはがれて、錆が露出しており、ポロポロなイメージを与えている。

**A東西地区の分断**  
 ・京成線により西地区と南地区が分断されており、東西に通り返ける道路が少なく地区間交流がしにくい状況である。

**②駅前の空き空間**  
 ・駅前に活用されていないスペースがあり、何か活動に利用したい。

**③エポラ通り商店街の“多国籍料理店”**  
 ・多国籍料理などもあり、飲食店が充実していると感じた。

**④エポラ通り商店街の“空き店舗”**  
 ・商店街の2階部分などが空き店舗となっており、土日の商店街は人出も少なく活気がない。

**⑤エポラ通り商店街の“イベント”**  
 ・土日の商店街を盛り上げるためのイベント（現金つかみどり）が開催されており、賑わいが出ている。

**⑥店舗の種類に偏りがある**  
 ・南地区周辺には、美容室が多いなど、店舗の種類に偏りを感じた。

**⑦マンションのオープンスペース**  
 ・マンションの敷地の一部が休憩スペースとして整備されており、地域との連続性が感じられた。

**⑧八千代台東小学校“ベンチ”**  
 ・東小学校では起伏の大きな土地形状を活用したヒューマンスケールのベンチが整備されており使いやすさを感じた。

**八千代台東小学校“木漏れ日の空間”**  
 ・東小学校のグラウンドの一部は隣接した森林と連続した公園として整備されており、木々に囲まれた木漏れ日の空間が成立していた。

**八千代台東小学校“防災施設”**  
 ・防災施設として整備されているが、平常時の小学校利用や土日利用を想定するとデザイン性に乏しい。

**B雨水幹線の再利用**  
 ・八千代台東小学校の雨水暗渠（昔の小川）のみ掘り起こし、小川の自然を取り戻すことで、子供たちが遊ぶ水辺の空間にしたい。

**⑨小学校前の歩道橋**  
 ・歩道橋のベンキが剥がれ錆が露出しており、古い印象を受けた。近隣の小学校と地域が協力をして修復作業を行うことで、地域住民と子供の繋がりを感じ、愛着の持てる場所にしたい。

**⑩いちょうの並木**  
 ・八千代市と千葉市の並木道の整備方法が異なり、並木道の連続性が途切れている。小学生や地域住民が植樹を行うことで改善したい。

**⑪見守り通り**  
 ・歩道整備が施されていない危険な通りである。近所の高齢者が下校時の見守り活動等、地域全体で子供たちを育てる取り組みが行われている。

**⑫八千代台保育園**  
 ・公会堂や保育園が古いため、両者を統合した建物を設け、駐車スペースを整備することで地域の問題の解決に繋げる。

**C来訪者に優しくない環境**  
 ・駅、公共施設の案内板が少ない。

**⑬住宅街の緑の減少**  
 ・分譲住宅の開発に伴い、一軒当たりの敷地が狭く、庭のない家が増えているため、住宅街の全体の緑が減少傾向にある。

**D住民と市役所が一体の公園**  
 ・南ヶ丘公園は、地域住民が主体となって管理を行っており、常にゴミがなくきれいな状態となっている。

**E気配りに欠ける公園**  
 ・トイレのない公園が多いためわざわざ家に帰ったり近くのコンビニへ行く。

**⑭交流がある南ヶ丘公園**  
 ・早朝の元気体操やラジオ体操など地域住民の交流の場として利用されている。情報伝達が滞っており、南地区の住民間、面と面を合わせるアナログの対応が必要である。

**⑮情報の提示**  
 ・植木の開花予報が掲示されており、地域との連続性（人とのつながり）を感じた。

**⑯小さな公園**  
 ・住宅地内にあるため公園面積が小さく利用しにくい作りとなっている。小さな公園を複数造るよりも、一つ大きな公園を作るなどの工夫が必要である。

**⑰八千代市と千葉市の境界**  
 ・八千代市側の道路や緑地帯、千葉市側の道路に段差もあり、利用しにくい。昔は水路があったことを踏まえて水辺として復元したり、自然環境豊かな空間にしたい。

**⑱貯水池**  
 ・貯水池に人が入れないように整備されている。一年に2回程度使用されるが、水がない時に市の活動の場（バスケットボールコート等）として利用したい。

**⑲八千代ふるさと50景「野馬除け土手」**  
 ・野馬除け土手は、近隣住民でも知らない人が多い。個人の土地であるため立ち入りにくいが野馬除け土手を眺めるためのベンチ等を設置したい。

**F管理されていない公園**  
 ・市民の森は、市役所が主体となって管理されているが、公園わきの雑草が放置され利用しづらい状況となっている。

**G市民の森**  
 ・利用者が憩える魅力的な空間であるが、実際は利用者が少ない。この場所を活用した虫採取イベント等を行い高齢者と子供たちとの繋がりを強めたい。

**G住宅街に広がる小さな自然**  
 ・敷地が広く緑の多い庭を持った家が多く、連絡的な緑が人がる自然豊かな住宅空間となっている。

**⑳交通量の多い通り**  
 ・交通量が多く歩道も狭いため危険であるため、交通安全の啓発活動（宮古島まもる君の設置等）を行う必要がある。

